

福祉文教委員会

問 令和6年度の新規事業である福祉サービス事業人材育成補助金について、利用実績は1名だった。事業の効果をどのように考えるのか。

答 当事業は、将来の福祉施設等で働く人材確保を目的としている。令和6年度の実績が少なかった要因として、周知が十分に浸透しているとは言えない現状、実習生やアルバイトをしている学生に、情報が伝わっているかどうか不明な点がある。今後は周知先や、周知のタイミングなどを検討していく。

問 令和6年度からスタートした学びの多様化教室「にじ色」を1年間運営した成果と課題は。

答 成果は、中学3年生全12名が、自分の希望する進路実現を果たすことができたことである。アンケートによると9割近くの生徒が授業がよくわかったと答えており、出席率も8割であった。課題は、個別に寄り添うことを、より充実させていくことである。



産業建設委員会

問 観光課題対策事業において、どのような課題があり対応がなされたか。

答 観光客の増加に伴うマナーの問題や発災時における観光客の危機管理対策などがあり、マナー問題には「with Respect」(ウィズ リスペクト)というキャッチフレーズを作成、提示し啓発を行った。危機管理対策には受け入れる為の計画やマニュアルの課題を整理し、現在も引き続き取り組みを行っている。

市民生活と観光振興の調和: マナー啓発看板・動画の制作 (R7.2月)



動画

with Respect

敬意を持って

Care for Locals, Environment, and Tradition
地元の人(の生活)、環境、伝統を大切に

Walk Mindfully
周りに配慮して、譲り合って歩く

Carry Your Trash
ごみを持ち帰ることでまちをきれいに保つことに協力する

Stay Quiet
日が暮れたら、近所のためにも静かに過ごす



春節の前にマナー啓発を実施

問 令和6年度でお試しサテライトオフィス事業は終了となったが総括は。

答 平成30年度に施設設置をしてから、15社の利用があり内4社に市内事業所を設置いただいた。コロナ禍以降、各自治体等で同様の事業推進や、働き方の多様化によりオフィスが必要としない状況もあり終了することとなったが、一定の役割を果たしたと捉えている。